



校長室から

『覚悟と頑張り』

校長 峰 薫

令和6年10月5日の創立50周年記念式典では、昭和60年度に第64回全国高等学校サッカー選手権大会長崎県大会で優勝し、全国大会に出場したサッカー部の皆さんと当時の顧問の先生に、パネルディスカッションをお願いする予定です。ゴールキーパーで、日本代表にも選ばれた前川和也さんにも登壇していただくことになっています。

平成2年に平戸高校の創立40周年記念式典が、「新たなる挑戦」というスローガンを掲げて行われました。これは、前身の紐差分校・津吉分校から数えてということで、平戸高校としては創立15年という年です。その記念誌に社会人としてプレーしていた前川和也さんが寄稿しています。

自分の人生を、サッカーへの覚悟と頑張りで切り拓いた人を、『一流のサッカー選手』と呼ぶのだと思います。前川さんの言葉には、説得力があります。抜粋して紹介したいと思います。10月に前川さんを含めて、サッカー部OBの皆さんの平戸高校卒業後の人生をお聞きするのが楽しみです。

【抜粋】

これまでは、サッカー部に入部すれば、自分が好きなようにサッカーをすることができましたが、いざ就職してサッカーが9割方の仕事になれば、そう簡単にはいきません。私はマツダに入社して2年間オランダから招聘されたM.J.オフト氏にコーチをしていただき、新しいゴールキーパーとしての技術・体力・精神力等を習い、2年間で大体できるようになったが、その反面、小学校

から高等学校までのゴールキーパーとしての知識を全部捨てなければいけなかったこと、英語を必死に聞いて理解しなければならなかったこと、この二つの大きな壁をクリアしていかなければならなかった。わずか2年間のうちに、私と一緒に入部した6人の同級生の内、すでに3人の名前がサッカー部から消え去りました。このように食うか食われるかの戦いで、ちんたら、ちんたら（だらだらと）高校生活の延長でやっていたのでは、社会は渡っていきません。一つ一つの問題点を克服することによって、レギュラーポジションが近くなり、プロへの道も近くなっていくので、“苦あれば楽あり”で一年一年サッカーがおもしろくなってきました。

皆さんも自分が進みたいところに行くためには、覚悟を決めて勉強しなければいけないし、スポーツ関係で入りたいところがあれば、覚悟を決めてスポーツで頑張らなければいけません。古い考え方かもしれませんが、苦しんで自分のものにする、その喜びも2倍になるはずですよ。



前川和也さん

©J LEAGUE Photos, Inc.

当時のJリーグカードには「平戸高」の記載あり

第 4 9 回 卒 業 証 書 授 与 式

3月1日(金)に第49回卒業証書授与式を挙行政、3年生(25名)が平戸高校を卒業しました。当日は多くの来賓や保護者の方々に足を運んでいただきました。送辞では2年生の柳原美佐子さんが卒業生との思い出を語り、感謝の意を伝えました。答辞では日高凜さんが3年間の出来事を振り返るとともに、クラスメイトや後輩、保護者、先生への想いを述べました。卒業式後のホームルームでは、卒業生が思い思いにクラスメイトや家族、先生への感謝の言葉を伝えました。卒業生にとって、涙と笑顔で溢れる素敵な日となりました。卒業生の今後の活躍を心から祈っています。



離 退 任 式

3月22日(木)に、離退任式を行いました。4名の教職員が離任・退任します。

峰 薫 校長先生(国語) 佐世保東翔高校へ

梅本 浩二先生(書道・非常勤講師) 退職

馬場 康一郎先生(保健体育・講師) 退職

秋月 優奈先生(養護) 佐世保市立
大久保小学校へ



公立高等学校入学者後期選抜

3月6日(水)・7日(木)に、高校入学者後期選抜を実施しました。国語・社会・数学・理科・英語の5教科の筆記試験と面接を行い、15日(金)に合格者を発表しました。4月から平戸高校の新1年生として、23名を迎える予定です。

4月の主な行事予定

8日(月)着任式・1学期始業式・第50回入学式
9日(火)1年生オリエンテーション、部活動紹介
10日(水)基礎力診断テスト
12日(金)部活動編成

